

# 2016年度の主なトピックス

## TOPIC 01

### 創業100周年 記念式典を開催

2016年8月25日に東海市芸術劇場(愛知県)において、創業100周年記念式典を開催しました。

当日は、役員および社員、OB、大同特殊鋼グループ各社の関係者など約1,000名が出席しました。記念式典では、創業からの歴史を綴る映像で100年を振り返ると共に、グループ経営理念、行動指針、グループロゴを発表しました。出席者は、大同特殊鋼グループ体となって、次の100年へ向けた新たな一歩を踏み出していこうと誓い合いました。



### ★ユニフォームのデザインを一新

創業100周年を機に、事務服を廃止し、ユニフォームのデザインを一新しました。

同じデザインのユニフォームを着用することで、役割や働き方が異なる一人ひとりが互いに「同じ働く仲間」として認め合い、ダイバーシティを活かす風土づくりを進めていくことが期待されています。デザイン性、機能性の観点から多くの工夫が施されたユニフォームです。



### ★南木曽町と森林の里親契約を締結

創業100周年を記念し、創業者の福沢桃介が水力発電事業に取り組んだ長野県木曾郡南木曽町との間で「森林の里親契約」を2016年11月1日に締結しました。当社が里親となった森林を「だいでうの森」と命名し、今後、南木曽町の森林整備を支援すると共に、社員が参加して植樹などの森林保護活動に取り組んでいきます。



## TOPIC 02

## 渋川工場で世界最大級の真空誘導炉(25トンVIM)が稼働開始

2016年6月、渋川工場(群馬県渋川市)で世界最大級の真空誘導炉が稼働を開始しました。新VIM炉は、設備能力としては25トンと世界最大級であり、原料となる金属を真空中で溶解精錬するため、製品の清浄度が向上します。産業機械やエネルギー分野、航空機および自動車関連向け高合金製品の中長期的な需要拡大に対応するため導入しました。新VIM炉の導入により、溶解プロセスの効率化や製品の高級化を進め、素形材事業におけるQ(品質)、C(コスト)、D(納期対応能力)競争力を強化していきます。



## TOPIC 03

## エコキャンプツアー2016に過去最多の60名が参加

当社が主催するエコキャンプツアーを2016年8月1日から3日にかけて北海道枝幸郡浜頓別町で開催し、社員とその家族、地元スタッフを含め、過去最多の60名が参加しました。

エコキャンプツアーは、クッチャロ湖(同町)ほとりに広がる当社の所有林「クッチャロ 自然の森だいでう」を訪れ、キャンプや植樹を通じ環境保全・自然愛護の意識を高めてもらおうと2006年に初めて開催し、今回で6回目です。参加者からは、家族と一緒に植樹をしたり、キタキツネなどの野生動物を見たりなど、雄大な自然を楽しみながら、さまざまな体験ができたとの感想が届きました。



クッチャロ 自然の森だいでう



## TOPIC 04

## タイ型鍛造品製造拠点 開所式

当社の100%子会社であるDaido Steel (Thailand) Co., Ltd. は、2017年3月8日に開所式を開催しました。同社はASEAN地区における自動車鍛造部品の現地調達ニーズの高まりに合わせ、2015年に日本、米国に次ぐ大同特殊鋼グループの型鍛造品製造拠点としてタイに設立されました。当社が開発した高生産性、高歩留、操作性の簡素化、品質精度向上などの特徴を持つ熱間高速横型鍛造機を導入し、型鍛造品の拡販を進めていきます。

